

長野市民病院 内科専門研修プログラム

Digest Ver.
202302版



プログラム概要

“ 来たれ、真の内科専門医を目指す君 !! ”

- ・ 研修期間：3年間
 - ・ 疾患の幅広さと豊富さには自信あり
 - ・ 経験豊富な指導医
 - ・ 連携施設と協力し、各ジャンルの研修を徹底修得
 - ・ 初期から専門分野を並行して学ぶ「**Subspecialty**コース」と、内科を広く学ぶ「**内科基本**コース」あり
- ※既に初期研修で様々な科を経験した人は、**Subspecialty**コースを！
- ・ 募集人数：3名



指導責任者
内科部長
臨床研修センター長
掛川 哲司

プログラム例

いずれのプログラムも疾患の幅広さと豊富さには自信あり！

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器内科			呼吸器内科			内分泌代謝内科			循環器内科		
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1~2回/月の救急センター当直											
	JMECC受講											
	20疾患群60症例以上を経験し登録・病歴要約10編以上登録 希望により並行してサブスペシャリティー領域も研修											
2年目	腎臓内科		神経内科		連携施設での研修							
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1~2回/月の救急センター当直											
	45疾患群120症例以上を経験し登録・必要な病歴要約29編をすべて登録 希望により並行してサブスペシャリティー領域も研修											
3年目	連携施設での研修						希望の診療科での研修(症例の不足があれば柔軟に対応)					
							ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1~2回/月の救急センター当直					
	70疾患群200症例の登録 希望により並行してサブスペシャリティー領域も研修									専門医筆記試験		
CPC・医療安全・医療倫理・感染対策などの講習会参加												
全研修期間を通じてカンファレンス・講習会・研究会・学会への積極的参加・筆頭者としての学会発表あるいは論文発表を2件以上												

内科基本コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	Subspecialty科にて 初期トレーニング						他内科1		他内科2		他内科3	
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1~2回/月の救急センター当直											
	JMECC受講											
	20疾患群60症例以上を経験し登録・病歴要約10編以上登録											
2年目	他内科4		他内科5		予備		連携施設での研修					
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1~2回/月の救急センター当直											
	45疾患群120症例以上を経験し登録・必要な病歴要約29編をすべて登録											
3年目	連携施設での研修						希望の診療科での研修(症例の不足があれば柔軟に対応)					
							ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1~2回/月の救急センター当直					
	70疾患群200症例の登録									専門医筆記試験		
CPC・医療安全・医療倫理・感染対策などの講習会参加												
全研修期間を通じてカンファレンス・講習会・研究会・学会への積極的参加・筆頭者としての学会発表あるいは論文発表を2件以上												

Subspecialtyコース

プログラム例

内科基本コース

専攻医1人あたり5～10名程度の入院患者を受け持ちます。

(そのうち2～3割はローテート科以外の診療科の患者)

ローテーション先診療科の外来・当直・救急対応も行います。

1年目：

長野市民病院で、内科6科のうち4科をローテートします。

20疾患群60症例以上を経験・登録、病歴要約10編以上登録

JMECC受講を勧めます。

2年目：

前半を長野市民病院で、残りの2科をローテート研修します。

45疾患群120症例以上を経験・登録、病歴要約全29編を登録、

後半は連携施設で不足している症例や専門分野を研修します。

3年目：

前半は、上記と同様に連携施設での症例補充・専門研修。

後半は予備期間として希望の診療科での研修を行います。

症例の不足があれば相談の上柔軟に対応します。

いずれも指導医、Subspecialty上級医の指導の下、主治医として診断・治療に必要な身体診察、検査の解釈、治療方針の決定、実行をして全人的医療を実践する能力を身につけることができます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器内科			呼吸器内科			内分泌代謝内科			循環器内科		
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1～2回/月の救急センター当直											
	JMECC受講											
	20疾患群60症例以上を経験し登録・病歴要約10編以上登録 希望により並行してサブスペシャリティー領域も研修											
2年目	腎臓内科			神経内科			連携施設での研修					
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1～2回/月の救急センター当直											
	45疾患群120症例以上を経験し登録・必要な病歴要約29編をすべて登録 希望により並行してサブスペシャリティー領域も研修											
3年目	連携施設での研修						希望の診療科での研修(症例の不足があれば柔軟に対応)					
							ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1～2回/月の救急センター当直					
	70疾患群200症例の登録 希望により並行してサブスペシャリティー領域も研修									専門医筆記試験		
CPC・医療安全・医療倫理・感染対策などの講習会参加												
全研修期間を通じてカンファレンス・講習会・研究会・学会への積極的参加・筆頭者としての学会発表あるいは論文発表を2件以上												

プログラム例



専攻医1人あたり5～10名程度の入院患者を受け持ちます。
 (そのうち2～3割はローテート科以外の診療科の患者)
 ローテーション先診療科の外来・当直・救急対応も行います。

Subspecialtyコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	Subspecialty科にて 初期トレーニング						他内科1		他内科2		他内科3	
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1～2回/月の救急センター当直											
	JMECC 受講											
	20 疾患群 60 症例以上を経験し登録・病歴要約 10 編以上登録											
2年目	他内科4		他内科5		予備		連携施設での研修					
	ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1～2回/月の救急センター当直											
	45 疾患群 120 症例以上を経験し登録・必要な病歴要約 29 編をすべて登録											
3年目	連携施設での研修						希望の診療科での研修 (症例の不足があれば柔軟に対応)					
							ローテーション先の診療科での外来(初診外来を含む)・1～2回/月の救急センター当直					
	70 疾患群 200 症例の登録									専門医筆記試験		
CPC・医療安全・医療倫理・感染対策などの講習会参加												
全研修期間を通じてカンファレンス・講習会・研究会・学会への積極的参加・ 筆頭者としての学会発表あるいは論文発表を2件以上												

1年目前半：

Subspecialty科を選択、ローテートし、一般的な内科スキルの習得に加え、目指す領域の指導医や上級医と共に知識・技術を学習し、将来のVisionを描きます。

1年目後半～2年目前半：

2ヶ月毎に他内科をローテート研修して各科症例を経験します。並行してSubspecialty科の修練も積むことができます。

2年目後半～3年目前半：

連携施設で不足している症例や専門分野を研修します。

3年目後半：

予備期間として希望の診療科での研修を行います。症例の不足があれば相談の上柔軟に対応します。

いずれも指導医、Subspecialty上級医の指導の下、主治医として診断・治療に必要な身体診察、検査の解釈、治療方針の決定、実行をして全人的医療を実践する能力を身につけることができます。

病院概要

設立 1995年6月1日
病床数 一般病床 400床
常勤医師数 105名 (2022.4現在)
主な施設認定等

病院としての機能が
充実しています

- ★ 臨床研修病院 (臨床研修評価機構認定 県内9病院)
- ★ 地域がん診療連携拠点病院
- ★ 地域医療支援病院 (県内12病院)
- ★ 地域医療人材拠点病院 (県内11病院)
- ★ 病院機能評価機構 認定病院
- ★ 人間ドック健診施設機能評価 認定病院

(県内16病院)

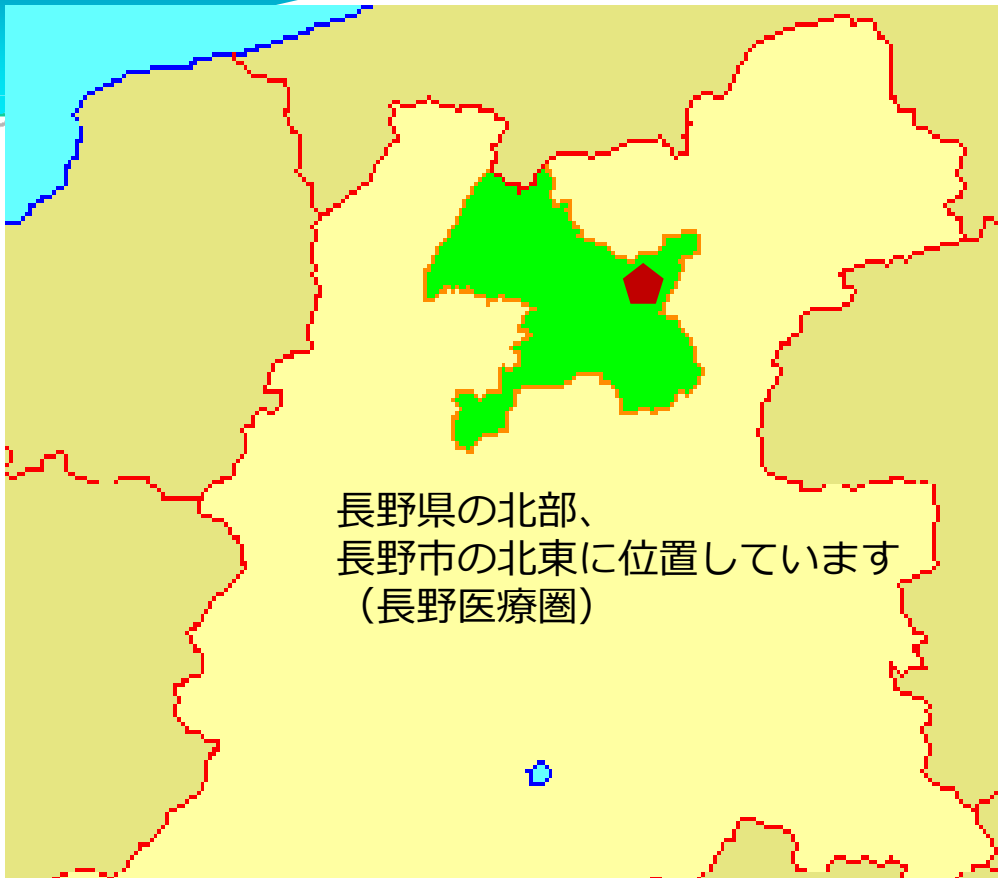
アクセス :

東京⇒長野 <最短84分>

金沢⇒長野 <最短65分>



(北陸新幹線)



長野県の北部、
長野市の北東に位置しています
(長野医療圏)



内科各診療科 医師数

多くの症例を経験した
熱意ある指導医です

診療科	医師数	指導医	専門医数
消化器内科	10	1	5
循環器内科	6	-	2
呼吸器内科	4	1	3
神経内科	3	1	4
内分泌代謝内科	4	2	2
腎臓内科	3	1	2
血液内科	1	非常勤	
膠原病内科	1	非常勤	

他、アレルギー専門医 有資格者が1名在籍

(2023年1月現在)

診療実績

(病院全体)

症例は豊富で多くの
経験を積むことが可能

		2019年度	2020年度	2021年度
1日平均 患者数 (人)	入院	384	358	360
	外来	928	859	959
地域医療支援病院紹介率 (%)		77.1	77.1	75.1
地域医療支援病院逆紹介率 (%)		83.6	88.0	86.0
病床稼働率 (%) (許可病床)		96.1	89.6	90.0
平均在院日数 (日) (地域包括ケア除く)		11.4 (10.2)	11.4 (10.3)	11.2 (10.5)
手術件数 (手術室利用)	全 体 (件)	4,407	4,270	4,365
	全身麻酔 (件)	3,073	2,914	2,955
救急外来関係	時間外患者数 (人)	13,711	9,005	10,102
	救急車利用者数 (人)	4,625	4,122	4,603

アメニティ

業務に集中でき
働きやすい環境です

- 医局に個人デスク（専用キャビネ・ネット環境有）



- 電子カルテ専用スペース

業務に集中できる環境です



- メンタルヘルス対応部署あり（こころの健康相談室）

- 女性専用の更衣室、仮眠室、シャワー、当直室あり

- 敷地内に院内託児所あり

働きやすい環境です



連携施設群の位置

貴重な経験を積む
ことができる連携施設

共に長野市の先進医療を担う
長野赤十字病院
(連携施設)



長野市民病院
(基幹施設)

より地域に密着した医療を提供
飯綱町立飯綱病院 (飯綱町)
(特別連携施設)



都市型と地域型のハイブリッド
長野県立信州医療センター (須坂市)
(連携施設)

大学病院との繋がりも重要！
信州大学医学部附属病院 (松本市)
(連携施設)



ここがオススメ

Recommend!

- コモンディジースから専門性の高い疾患まで
幅広く経験できます

- 豊富な症例数

- 協力施設がいずれも近隣

(大学病院を除き、いずれも自家用車で20-30分)

- コメディカルが協力的、医療クランクが
スピーディーな診療を支援してくれます



ここがオススメ

Recommend!

- 派閥がない
- 診療科を越えて、横の連携が良い
- (基本的に!?) 優しい医師が揃っています

医局のデスクは診療科の区分なし。ラウンジでは科の垣根無く食事・休憩・談話

- 建物がキレイです
- 病棟から見える、のどかな風景が心を癒す。

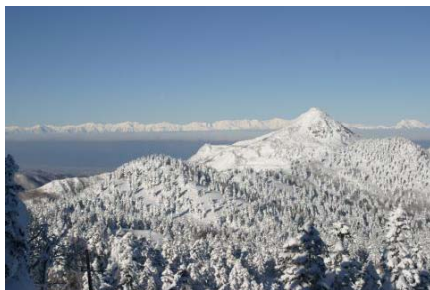
- 院内にコンビニ営業中 !!



7:00~20:00

- 志賀高原、渋温泉、菅平など、屈指の癒し処が

車で1h圏内。On-Off を切替えて研修に集中!



2023年春 新棟オープン

市民病院としての機能が更に充実！



- 3F 透析センター
- 2F 地域包括ケアセンター
- 1F 健診センター